

令和4年度第1回松本市総合教育会議次第

日時 令和4年5月26日（木）
午後3時から午後4時30分
場所 第一応接室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題
人口定常化に向けた教育環境の充実

4 閉 会

『人口定常化に向けた教育環境の充実』

《現状認識》

- ▷コロナ禍を通じて、東京集中型の社会構造や生活意識が、地方分散型に変わろうとしている。
- ▷東京から松本への移行が加速するかどうかは、仕事・住まいと共に、教育環境がカギを握る。

《基本方針》

- ◎教育大綱に掲げた「子どもが主人公」の社会を実現するため、教育改革の具体化に取り組む。
- ◎変化が激しい転換期の社会を生きていく子どもたちに、最適で多様な学びの機会を保障する。

《令和4年度の取り組み》

重点① 子どもを誰一人取り残すことのないシステムの構築

- ◇地域や民間の大人たちが小中学校の授業や放課後学習に積極的に関わる仕組みを整える。
- ◇特別支援教育・貧困家庭支援・ジェンダー平等・外国人支援に取り組む態勢を強化する。

重点② 子どもにとって魅力的な学校環境の整備

- ◇特色ある小中学校を拡充するために、先進事例や制度の検討と教職員の確保に取り組む。
- ◇デジタル・リモート機器を最大限に活用し、個々の能力や到達段階に即した授業を行う。

重点③ 「遊び」や「体験」を大切にした学びの拡充

- ◇中学校部活の「地域移行」を契機に、子どもが様々なスポーツを楽しめる環境を整える。
- ◇市民芸術館の「ミッション」を問い直し、演劇やアートを子どもの創造力に結びつける。